

八日市南高等学校 実践報告

ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりに係る研究

滋賀県立八日市南高等学校

校長 野口 佐登司

教諭 江南 由紀子



目次



- 1 八日市南高等学校について
- 2 特別支援教育に係る取組について
- 3 本校における課題について
- 4 ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり
に係る研究について
- 5 最後に

1 八日市南高等学校について



- 農業高校(農業科・食品科・花緑デザイン科)
- 地域に根ざした学校
- 就職:進学 = 7:3
- 3年生になると授業時数の約半分を農業の授業が占める
- 国語・数学・英語などは少人数講座で実施
- 中学校から個別の指導計画等を引き継ぐ生徒は1学年15名弱
(学年の1割)
- 中学校で特別支援学級に在籍した生徒は各学年に2~4人程度

2 特別支援教育に係る取組について



- 個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成
- 厚生人権・特別支援教育推進委員会(年間5回)の開催
(情報共有、合理的配慮の提供についての検討 等)
- 特別支援教育係
 - ・クラス担任・教科担任への助言
 - ・外部機関との情報共有および連携
 - ・特別な支援を必要とする生徒についての調査

3 本校における課題について



○特別な支援を必要とする生徒の増加

→ 一人ひとりの生徒の教育的ニーズにどのように対応するか

○個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成

→ 実際の生徒支援や授業づくりにどのように活用するか

→ すべての生徒にとってわかりやすい授業づくり

4 ユニバーサルデザインの視点に立った 授業づくりに係る研究について



研究の目的

- ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりに取り組むことで、生徒・教職員みんながお互いのよさや違いを認め合う関係を構築しつつ、すべての生徒の学びを保障することで、安心できる居場所としての学校を目指す。

研究経過①（「UDLの視点に立った授業づくり」について学ぶ）

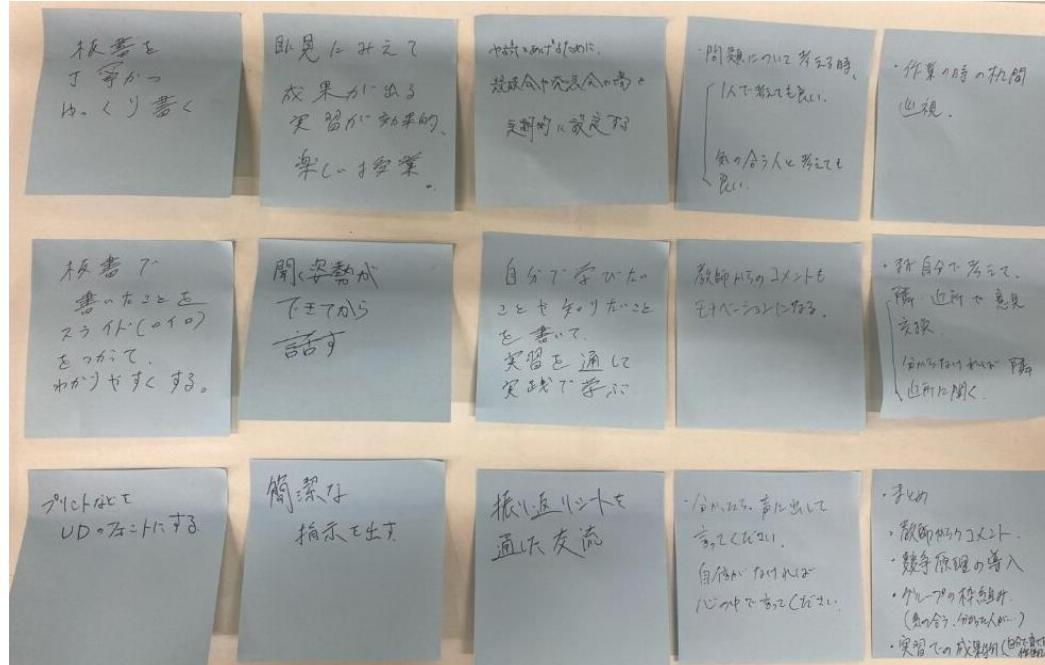


校内研修

ユニバーサルデザインと
特別支援教育について

京都教育大学
佐藤 克敏 教授

研究経過①（「UDの視点に立った授業づくり」について学ぶ）



グループワークでは…

「取組みに対する多様な方法」の提供(なぜ学ぶか)

について、授業の中でできることを考え、意見を出し合った。

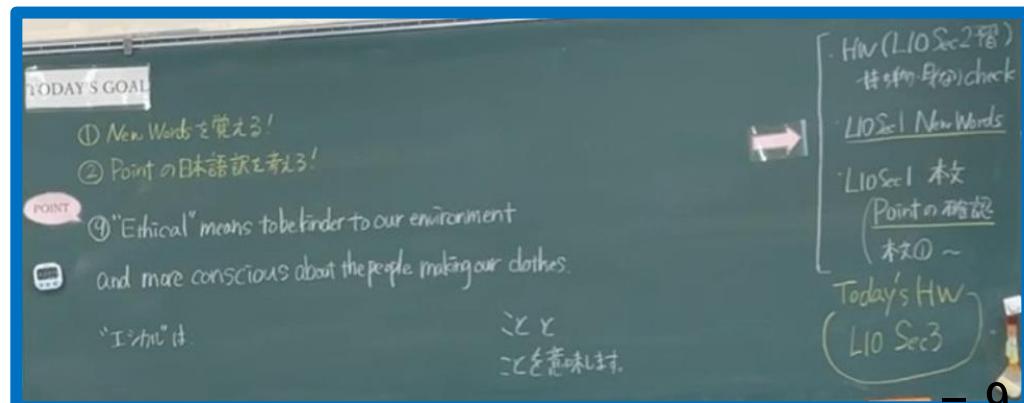
研究経過② (授業参観により具体的な授業改善について学ぶ)

① 他教科の授業参観によりUDの視点から気づいたこと

- ・授業の目標・流れの掲示を板書で行う大切さ
 - ・発問の仕方・指示の具体的な出し方
 - ・ICT機器の活用・ペアワークの活用 等

② 授業改善への助言

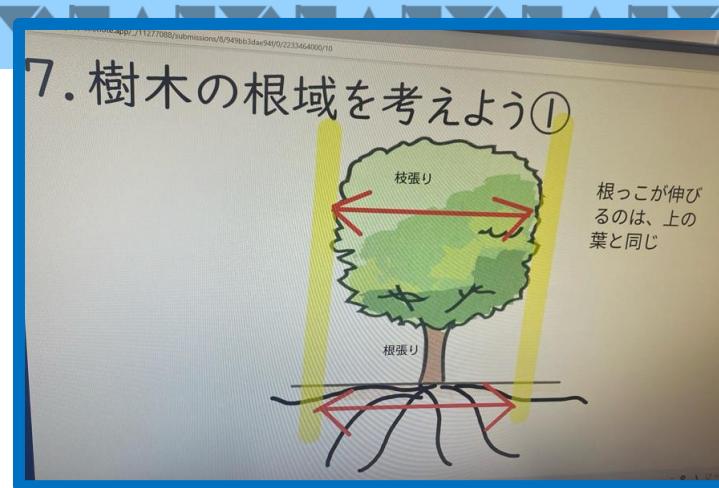
- ・生徒の特性に応じること
 - ・生徒の学習進度に合わせること



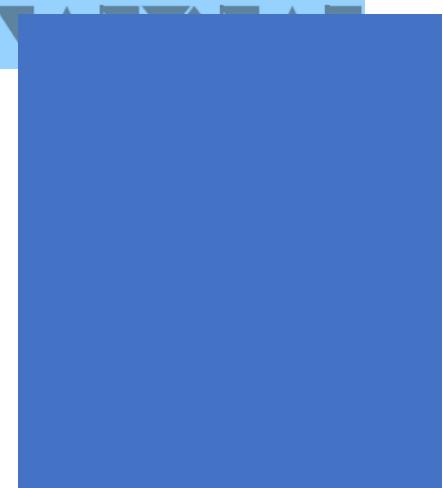
今後の進め方

八南ユニバーサルデザイン授業展開(案)			
		【A】提示(理解)のために多様な方法をデザインする ^①	【B】行動と表現のために多様な方法をデザインする ^②
準備 ^③	① 板書計画 ^④	<input type="checkbox"/> 文字サイズ、色、分量 ^⑤	<input type="checkbox"/> 取り組みのために多様な方法をデザインする ^⑥
準備 ^⑦	② ワークシート ^⑧	<input type="checkbox"/> UDフォント ^⑨	<input type="checkbox"/>
準備 ^⑩	③ 開始 ^⑪	<input type="checkbox"/> チャイムとともに開始 ^⑫	<input type="checkbox"/> チャイムとともに開始 ^⑬
導入 ^⑭	④ 本時の内容の提示 (目標・流れ) ^⑮	<input type="checkbox"/> 板書、ホワイトボードの活用 ^⑯	<input type="checkbox"/> 本時の目標と流れを明確にする ^⑰
導入 ^⑯	⑤ 生徒の状態の確認 ^⑰	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ベル着、挨拶 ^⑱ <input type="checkbox"/> 身だしなみ・机上の整理、期間巡視 ^⑲
展開 ^⑳	⑥ 分かりやすく伝え る工夫 ^㉑	<input type="checkbox"/> スライドの利用 ^㉒	<input type="checkbox"/> 端末の利用 ^㉓ <input type="checkbox"/> 板書を写す時間の確保 ^㉔ <input type="checkbox"/> 指示 ^㉕ <input type="checkbox"/> 個別説明が必要な生徒の対応 ^㉖
展開 ^㉗	⑦ 生徒が考える内 容・活動を入れる ^㉘	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> グループワーク、ペアワーク ^㉙ <input type="checkbox"/> 端末の活用 ^㉚
展開 ^㉛	⑧ 学び合い ^㉜	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 生徒間の教え合い ^㉝ <input type="checkbox"/> ゲーム形式でのグループ活動 ^㉞
まとめ ^㉟	⑨ 振り返り ^㉟	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (教師の)振り返り ^㉟
まとめ ^㉟	⑩ 終了 ^㉟	<input type="checkbox"/> チャイムで終了 ^㉟	<input type="checkbox"/> チャイムで終了 ^㉟

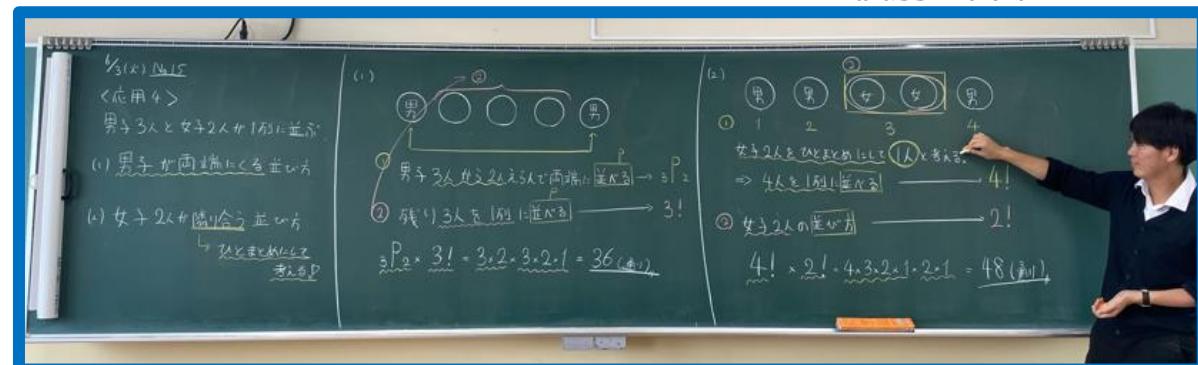
チェックリスト(案)



ICTの活用



個別の言葉かけ



1時間の授業が見通せる板書



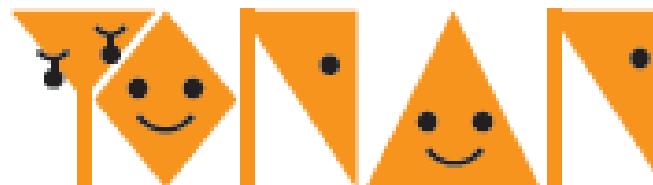
ユニバーサルデザインの視点に立った授業に
教師全員で取り組める体制づくり

5 最後に

一緒に考える。一緒にやる。

応援してくれる人

応援してくれる場所と一緒に探す。増やす。



いのちをはぐくみ、人を育てる。